

所得税・市県民税・個人事業税

二月十六日～三月十六日に必ず申告を

確定申告をする

二月十六日から所得税、市県民税、個人事業税の申告受付けがはじまります。期間は三月十六日まで、税務署仮店舎（市役所北側の旧店舎）で税務署、市税務課、西宮財務事務所が合同で窓口を設けて申告を受付けます。また確定申告をすると市県民税、個人事業税の申告の必要はありません。このように申告が一度ですむようになりますが、確定申告をする人は申告書裏下の「住民税事業税に関する事項」欄も必ず記入してください。

確定申告の必要な人
申告しなくてよい人

▽申告をしなくてよい人：一般サラリーマン。通常年末調整によって税額が精算されますから、確定申告をする必要はありません。

▽申告をしなければならない人：前の①②にあたる人のほか、③商業や工業などの事業主、医師や弁護士などの自由業を営む人などです。

▽申告用紙：申告しなければならないと思われる人には用紙を郵送しました。もし用紙が届かなかったら、確定申告用紙は芦屋税務署へ、市県民

▽申告をしなくてよい人：一般サラリーマン。通常年末調整によって税額が精算されますから、確定申告をする必要はありません。

▽申告用紙：申告しなければならないと思われる人には用紙を郵送しました。もし用紙が届かなかったら、確定申告用紙は芦屋税務署へ、市県民

確定申告の説明会

館で、△十三日（金）御影公会

確定申告の受付に先立って、税務署、県西宮財務事務所、市税務課で、時間は両日とも午後二時三十分からです。みなさんおぞい

△四十四年に二十万人をこえた財産の合計額が四十万円をこえました。課金で、確定申告をした人がからもらつた財産の合計額が四十万円をこえました。

△四十四年中に個人からもらつた財産をもらった場合には、これまで比べてずっと安い税金ですむ

△親戚間で財産の名義変更があり、実質が贈与と変わらないよ

△月十二日（木）芦屋市民会

申告は同時に申告を

△月二十日から一月二十日まで

△月二十一日から一月三十日まで

△月二十二日から一月三十日まで

こんな子どもが望ましい

こんな子どもを	具 体 例
①積極的な子	・自分でできることはしようとする子 ・自分からやろうとする子 ・活発な子 ・自分で遊びを広げていく子 ・何にでも心を動かし、何でもしたいと思う子
②子どもらしさのある子	・明るく、のびのびした子 ・家も幼稚園も変わりなく自分を出せる子 ・子どもらしさの見方考え方のできる子 ・自分の思いをすなおに出せる子 ・友だちと楽しく遊べる子 ・だれとでも遊べる子 ・毎日元気に登園できる子 ・遊びに没頭できる子 ・遊びまわってあきることのない子 ・返事や、「はい」「いいえ」がいえる子 ・先生や友だちのいうことがすなおに聞ける子
③友だちの中にとけこめる子 ④健康な子 ⑤ものごとに集中できる子 ⑥意志表示ができる子 ⑦すなおな子	・自分の意見がいえる子 ・困ったこと（おなかが痛いとか、用便に行きたいたり）がいえる子 ・どんな場合でも自分の判断でものごとの処理ができる子 ・ひとに頼らない子 ・どんな友だちとも仲よくできる子 ・明るくだれとでも遊べる子 ・友だちと仲よくし、たすけ合えることができる子 ・明るくものおじしない子 ・ピチピチしている子 ・「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などがいえる子 ・根気強くどんなことにも泣かずしてやりとおす子 ・きまりや約束がよく守れ、忘れものをしない子 ・最低「はい」「いいえ」がいえる子
⑧小学校では	①はきはきと何でも話せる子 ②自分のことが自分でできる子 ③友だちと仲よくできる子 ④すなおで明るく元気な子 ⑤礼儀、あいさつができる子 ⑥最後までやりとおす子 ⑦約束の守れる子 ⑧はきはきと答える子

入園・入学までに

「幼稚園は、ひとり立ちと、集団育てる」四才・五才の子どもにとて、最も大切なことは遊びです。ネルギーが内包されているのです。

この時期の子どもは、遊びにうち膝もとを離れて幼稚園生活にはいりません。大きな生活の転機です。将来に大きく伸びる基礎が養われることは、大きいことがあります。

初めて、とまといと不安の日が続きます。やがて自分にもこんなことができるのかという喜びを知り、多くの友達の心と合わせ、共に行動することの楽しさを体験することができます。

そのためには、アンケートに見られる心身の健康な子ども、基本的な習慣がしっかりと身についている子ども、友達のなかにとけこめる子どもに育っていることが大切な基盤をなしていることが見えます。

子供たちは、自分の意願が叶うように思っています。入園までに、自分が自分でできるようになります。

遊びを通して子どもの内面を

「家庭教育とよい環境」子どもが家庭を学校化しないこと、教育を頗著に表わしているのです。年令からいっても小学校に入学することは、大きめの生活の転機です。将来に大きく伸びる基礎が養われます。

入園当初は、心をかたくとします。しかし、ふつう、中学校の時期の子どもは、遊びにうち膝もとを離れて幼稚園生活にはいります。このことによって、心も、身体も、は学校にすべてまかせることを強制します。とりわけ、自分でやることばかりで、自分でやることばかりで、それが、幼稚園・小学校で充実した母を慕つて泣く子、先生の説いてはなりません。

この家庭教育本來の使命が忘れてはなりません。とはいっても、小学校のときとは生活全体が大きく変わったのです。そこで、教育の過程で、本人の望まないおけいこごと過多は、とかく勉強きらいの性を、アンケートの結果がはつきり物語っています。また、すなおな子もたちは、喜びをもってみのできる子が入学前の望ましいことをした表情で、はつらつと登校する姿こそ、一生学び続ける工場も像として強調されていること

で明るく元気な子、はきはきと話すから学ぼう、研究しようとする構えをつくるためには、自分の意

志表示のできること、自分のこと

は自分でできること、最後までや

りとおさがりができることが重要

県立芦屋高校の教頭からお聞きした話を中心にまとめました。

こんな子どもを

新入園、入学児をお持ちのご両親へ

ところであるとの印象をもたせてやりたいのです。新しいランドセルをせおった子どもが、生き生の元気な子、はきはきと話

で明るく元気な子、はきはきと話

のできる子が入学前の望ましいこ

とがわかるにつれて、その心は開かれています。さらに、遊びを深め、価値あるものに高めていくに

がわかり、友達と遊ぶことの樂しきがわかるにつれて、その心は開

かれています。さらに、遊びを深め、価値あるものに高めていくに

がわかるにつれて、その心は開

かれています。さらに、遊びを深め、価値あるものに高めていくに

がわかるにつ

昭和45年2月5日

第三種郵便物認可

広

報 あしや

昭和44年度各会計予算現計および執行状況
昭和44年11月30日現在 (単位千円)

会計区分	当初予算額	現計予算額	収入済額	支出済額	差引
一般会計	3,050,300	3,432,321	1,925,983	1,813,049	112,934
同 緑 越 事 業	127,635	127,635	84,195	43,440	
特 別 会 計					
国民健康保険事業	210,020	210,020	113,192	106,069	7,123
下水道事業	176,912	214,067	85,717	84,650	1,067
北部土地区画整理事業	94,689	123,049	102,086	46,597	55,489
公共用地取得費	58,257	140,529	70,653	63,521	7,132
交通災害共済事業	7,854	7,854	7,166	1,797	5,369
物 品 調 達 費	6,500	6,500	3,926	2,614	1,312
小 計	554,232	702,019	382,740	305,248	77,492
財 産 区					
打出芦屋財産区	1,934	39,067	41,648	37,251	4,397
三条津知財産区	166	166	5,482	4	5,478
総 計	3,606,632	4,301,208	2,483,488	2,239,747	243,741

現計予算総額43億円

建設事業に四億二千万円余を執行

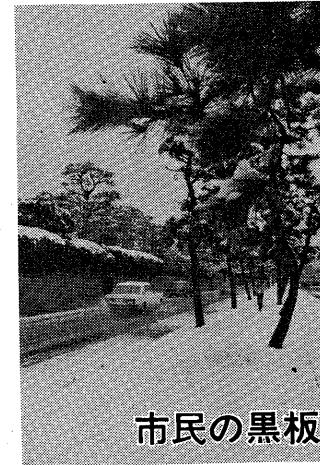
本年度予算の昨年十一月末までの状況がまとまり、一月三十一日で地方自治法の定めにとづいて公表しました。そこで、今回の財政事情の公表から、予算とその執行状況についてのあらましをお伝えします。

まず、昨年四月から十一月末までの収入と支出の状況をみますと

現計予算額四十三億二千万円に対して、収入は五十七・七%、支出しは五十二・一%となつております。

これを各会計別にあらわしますと

支出は五十二・一%となつております。



市民の黒板

市役所へのお問い合わせは
31局—2121番へ

2月15日に市営當住

宅抽せん番号受付

奥さんも国民年金

新規加入を受付中

引揚者の方へ

高令者の国民年金

と支給範囲を拡大

旧軍人等の恩給増額

2月20～28日 9日間

ねずみ駆除運動

殺そ剤の無料配布

燃えないゴミの収集予定

あきかん、あきびん、せともの、針金、鉄くずなど

あきかん、あきびん、せともの、針金、鉄くずなど